

## 夏休み中の子どもの事故に気をつけましょう!

もうすぐ夏休みですね。海水浴や花火、旅行など楽しいイベントが目白押し一方で、子どもたちの事故が多発する時期でもあります。事故の傾向を知り、防止につなげましょう。



### 子どもの救急搬送状況

(平成24年7～8月、0～12歳児についてとりまとめ)

| 事故種別 | 急病  | 一般負傷 | 交通事故 | 転院搬送等 | 合計   |
|------|-----|------|------|-------|------|
| 搬送人員 | 268 | 120  | 44   | 66    | 498人 |

※全搬送人員(同期間中6,761人)の約7.4% (資料提供・仙台市消防局)



仙台市におけるH24年7～8月の子ども(0～12歳)の救急搬送人員は498人(全搬送人員の約7.4%)で、そのうち急病(病気)や一般負傷(けが)については、3歳以下の幼児が半数以上を占めています。

救急搬送の原因としては、熱中症や水遊び中の事故など季節的なものもあれば、ひきつけなどのけいれん、転倒や打撲による頭部のけが、やけど、誤飲などさまざまです。

また、夏休み前半に小学生の交通事故(特に自転車運転中)が多いことや、一般負傷の約半数が自宅等の室内で発生していることなどの傾向が見られます。

子どもの事故として、最近では次のような事例も報告されています。 (参考:国民生活センターホームページ)

#### 事例1 花火の事故

手持ち花火をしていたところ爆発し、近くにいた子どもが手や足にやけどを負った。



ここに注意!

- 商品(花火)の注意事項や使用説明をよく読んでおきましょう。
- 必ず大人が付き添い、子どもが危険な行為をしないよう目を配るようにしましょう。
- バケツなどで必ず近くに消火用の水を用意しましょう。



#### 事例2 水遊び中の事故

- プールや海、川でおぼれた。プールサイドで転倒・衝突した。
- 自宅の浴室でおぼれた、転倒した。



ここに注意!

- 子どもから目を離さず、必ず大人が付き添って遊びましょう。
- 悪天候や天候悪化が予測されるときは、海や河川でのレジャーは中止しましょう。
- プールサイドはすべりやすくなっているので、走ったりしないようにしましょう。
- 身近な浴室でも、思わぬ事故が発生することがありますので注意しましょう。



#### 事例3 車のパワーウィンドウによる事故

子どもがパワーウィンドウのスイッチをいたずらして手をはさんだ。



ここに注意!

- 同乗者(大人)が安全を確認してから、パワーウィンドウの操作を行いましょう。
- 子どもが同乗するときはパワーウィンドウのロックスイッチを活用しましょう。
- 取扱説明書で操作方法をよく理解しておきましょう。



いざというときの応急処置も知っておくといいですね!

#### 救命ナビで「安心」を携帯しよう!

仙台市消防局では、応急手当の知識を多くの方に気軽に身につけていただくとう2月からスマートフォン用アプリケーション「救命ナビ」を公開しています。

##### 主な機能

- 救命ナビ(いざというときの119番通報から心肺蘇生法までの流れを分かりやすく誘導)
  - 応急手当を学ぶ(動画)
  - 仙台市内AEDマップ(杜の都ハートエイド登録事業所の表示)
- 自分の大切な家族や友人の命を救うために、ぜひ活用ください。

【お問い合わせ】 仙台市消防局救急課 TEL022-234-1111(代)

